

京都創生など6政策重点

平成18年度 京都市当初予算 1兆7,505億円

聖域なき改革 自民党が評価

二月定例京都市会は、平成十八年度予算案やごみ回収に有料指定袋制度を導入するための条例改正、国民保護法に基づく協議会を作る条例など計百三十六議案を可決し、三月十七日に閉会しました。

京都市は引き続き財政非常事態

自由民主党
京都市会
議員団ニュース

平成18年(2006)3月27日発行

■発行人/中村安良 ■編集長/中村三之助
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091

No.15

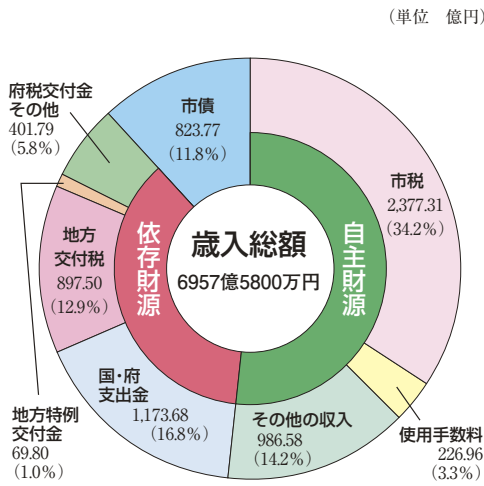
二月定例京都市会は、平成十八年度予算案やごみ回収に有料指定袋制度を導入するための条例改正、国民保護法に基づく協議会を作る条例など計百三十六議案を可決し、三月十七日に閉会しました。

議員報酬5%削減継続

京都市会議員の議員報酬の5%カットを来年度も継続することを決めました。これは、京都市が平成十三年度に財政難から京都市財政非常事態宣言を発したことを発端に我々京都市会議員が自主的に

削減を年々決定してきたもので、六年目になります。年間約三千八百万円の節減になっております。ようやく景気も回復傾向となり、京都市における実なる景気浮揚に向けて頑張ります。

一般会計歳入予算



当初予算の規模
1兆7504億7500万円

一般会計
6957億3800万円

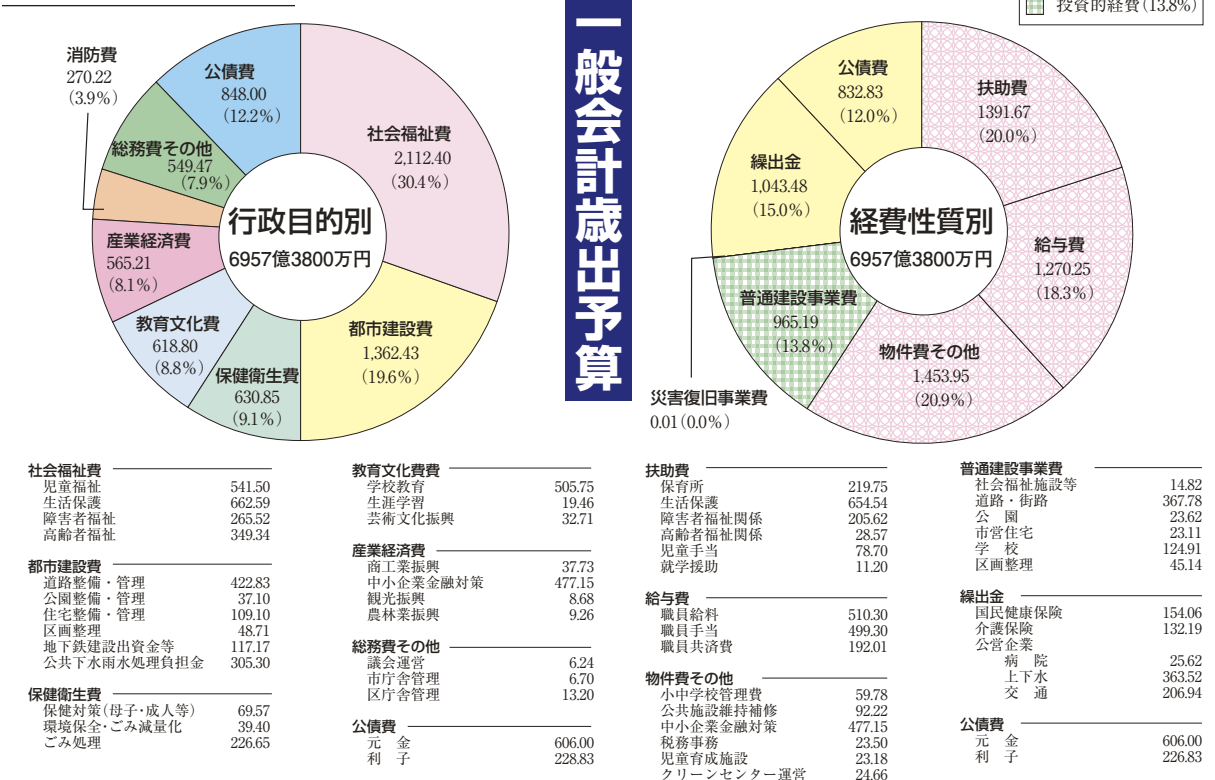
特別会計
7578億9100万円

公営企業会計
2968億4600万円

(注)平成18年度市債予算額には、減税補てん債(一般財源扱い)25.84億円及び臨時財政対策債(一般財源扱い)166.55億円を含む。

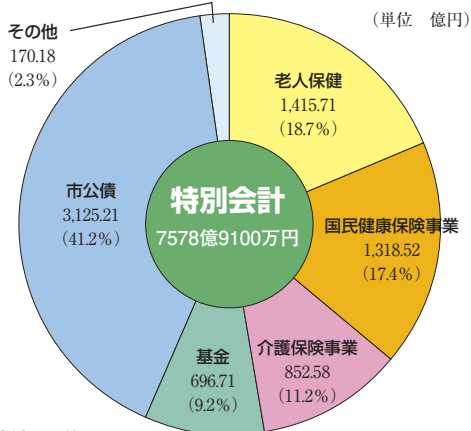
消費的経費(59.2%)
投資的経費(13.8%)

一般会計歳出予算



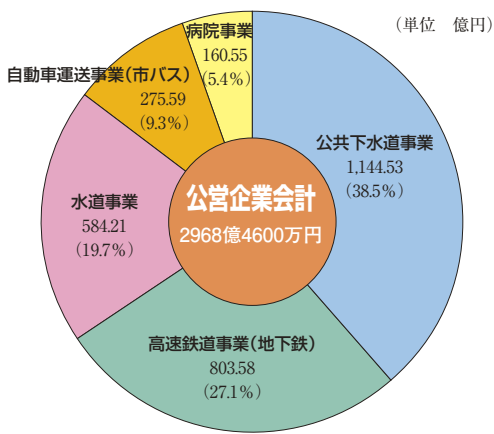
育て支援と学校教育の充実 ⑥京都市経済の更なる活性化と都市基盤整備
いずれも重要かつ必要な政策であります。榎本市長は年頭訓示にて、江戸末期の儒学者の佐藤一斎の著作から「時世に連れて動かすべきを動かさざれば、大勢立たぬものなり」という一節を引用されました。その意は、世の中には大きな流れがあり、それに合わせて変えるべきものは変える。さもなければ、時勢に遅れて役に立たない

特別会計



(注)その他の項目
土地取得 53.17 / 市街地再開発事業 29.46 / 中央卸売市場第一市場 28.40 / 駐車場事業 21.55 / 地域水道 11.93 / 中央卸売市場第二市場・と畜場 8.19 / 母子寡婦福祉資金貸付事業 5.84 / 土地区画整理事業 4.39 / 京北地域水道 4.06 / 特定環境保全公共下水道 2.58 / 農業集落排水事業 0.61

公営企業会計



社会福祉費	541.50
児童福祉	662.59
生活保護	265.52
障害者福祉	349.34
高齢者福祉	
都市建設費	422.83
道路整備・管理	37.10
公園整備・管理	109.10
住宅整備・管理	48.71
地区画整理	117.17
地下鉄建設出資金等	305.30
公共下水道処理負担金	
保健衛生費	69.57
保健対策(母子・成人等)	39.40
環境保全・ごみ減量化	226.65
ごみ処理	
教育文化費	505.75
学校教育	19.46
生涯学習	32.71
芸術文化振興	
産業経済費	37.73
商工業振興	477.15
中小企業金融対策	8.68
観光振興	9.26
農林業振興	
総務費その他	6.24
議会運営	6.70
市庁舎管理	13.20
区庁舎管理	
公債費	606.00
元金	228.83
利子	

扶助費	219.75
保育所	654.54
生活保護	205.62
障害者福祉関係	28.57
高齢者福祉関係	78.70
児童手当	11.20
就学援助	
給与費	510.30
職員給料	499.30
職員手当	192.01
職員共済費	
物件費その他	59.78
小中学校管理費	92.22
公共施設維持補修	477.15
中小企業金融対策	23.50
税務事務	23.18
児童育成施設	24.66
クリーンセンター運営	
普通建設事業費	14.82
社会福祉施設等	367.78
道路・街路	23.62
公園	23.11
市営住宅	124.91
学校	45.14
地区画整理	
線出金	154.06
国民健康保険	132.19
介護保険	25.62
公営企業	363.52
病院	206.94
上下水	
交通	
公債費	606.00
元金	226.83
利子	

指定管理者制度に課題

外郭団体等に条件設定有利

基準の見直しも必要

田中セツ子議員 (南区)

【指定管理者制度導入】

田中セツ子議員(質疑) 昨年十一月市会で二百八十八施設、百八十三の指定管理者に係る議案が可決したところですが、その指定の大半が既存の外郭団体などであることは、「官から民へ」という趣旨からして問題があります。このことは、十一月市会における指定管理者制度についての付帯決議の中でも指摘したところですが、特に問題だと痛感した点は、応募条件・資格が管理及び運営の実績を概ね二年以上としているなど、既存の外郭団体へ有利な条件設定になっている点と、選定委員に市職員やそのOBが数多く就任している点です。指定管理者制度の導入

に当たり、現時点での総括と今後の取り組み方向についてお聞かせください。

梶本頼兼市長

(答弁) 本市では、いち早く指定管理者制度の導入の取り組みに着手し、公募を原則とするとともに、選定委員会への外部委員の参画の義務付けや委員会の原則公開など、他都市を先導する先駆的な取り組みを展開して参りました。その結果、開館時間の延長など、より一層利用される方々に御満足いただくための様々な改善が図られるとともに、平成十八年度予算案において約五億円の財政効果が見込まれるなど、多くの成果を挙げられるものと考えております。しかしながら、いくつかの課題も認識しており、特に、十一月市会での付帯決議を重く受け止め、現在、これまでの取り組みの総括、分析作業を精力的に進めており、より公正かつ透明性の高い選定委員会の在り方や、民間参入を促進するうえで過度な資格要件がなかった



5,000万人観光客誘致をめざす京の観光地(嵐山・渡月橋を望む)

新おこしやす21 施策をどう活用

かといった観点から基準の見直しを行うなど、本制度がより有効に活用できるよう、さらに取り組みの強化を図って参ります。

【観光客五千万人構想の実現】

田中セツ子議員(質疑) 去る一月十八日、市長は観光客五千万人構想の総仕上げを図るため、五年間を取り組み期間とする「新京都市観光振興推進計画」をとり、

「新おこしやす21」を公表されました。計画には、多彩な施策が盛り込まれていますが、市長は、これらの施策をどのように活用して「五千万人観光都市・京都」を実現しようとしているのか、施策の進捗を客観的にチェッ

代表質疑

2月 市会

田中議員の質疑項目

- ・市政改革の取り組み
- ・区役所における窓口サービスの向上
- ・指定監視者制度導入の取り組み
- ・女性職員の登用
- ・観光客5千万人構想の実現
- ・修学旅行の誘致
- ・二条城の保存整備
- ・同和行政の終結
- ・市立浴場の見直し
- ・JR西大路、向日町間の新駅の整備
- ・向日町上鳥羽線及び(仮称)第二久世橋の整備

クする仕組みを含め、ご所見をお伺いします。

梶本頼兼市長(答弁) この度の「ゆとり、うるおい、新おこしやす」

住民熱き思い 調査費の計上

東山区の基本計画に

内海貢夫議員 (東山区)

【JR東大路駅(仮称)の構想】

内海貢夫議員(質疑) 「JR東大路駅構想の検討」についてですが、この件の今日までの経



JR東大路駅の設置が期待される東海道線の新駅候補地付近

過を振り返りますと、昭和三十一年八月二十五日と昭和三十三年二月二十四日に請願書が採択をされ、そして平成十六年十月八日にJR東海道線東大路駅(仮称)新設の検討の請願書が全会派賛成で三度目の採択がされました。それを受けこの度、五百万円の検討調査費をつけていただくことになり、実に五十年をかけた喜びにひたり、感謝している次第です。そこでおたずねいたしますが、この度の調査はどのような

こと調査項目とされるのかお答え下さい。

梶本頼兼市長(答弁) JR新駅設置にしましては、昭和三十一年以来三度の請願が出され、東山区の基本計画においても位置付けられるなど、住民の皆様の長年にわたる熱い思いであると真摯に受け止めております。また、新駅の構想は、東山地域の訪れる観光客や地域住民の皆様の利便性向上はもとより、京都の交通まちづくりに寄与することが期待されることから、来年度調査を行うことと致しました。

具体的には、地形や既存施設などの基礎的な調査や駅舎設置に係る技術的課題、整備費用などについて検討を行うとともに、JR西日本をはじめとする関係機関等との協議を進め、新駅設置の可能性について積極的に検討して参りたいと考えております。

(内海議員質疑3面に続く)

JR新駅へ50年ぶりの一歩

して参ります。

向日町上鳥羽線の19年度完成めざす

【向日町上鳥羽線及び第二久世橋の整備】

「プラン21」は、本市が主導的役割を果たしながら、オール京都の体制で今後五年間に取り組み観光施策・事業を策定したものでございます。計画の進行管理につきましては、京都府、京都商工会議所、京都市観光協会、京都府観光連盟と共に設立する連合組織において、オール京都の立場から、さらに市民の皆様のご意見をお聴きし、反映できる仕組みとして、学識経験者や市民公募委員から成るフォローアップ委員会を設置して参りたいと考えております。観光立国・日本の牽引役として大きな役割を果たし、新計画に定める百二十一施策に全力で取り組み、5千万人観光都市の早期実現を目指す

手から十数年にわたり取り組んで来られましたが、橋の外観が確認されるようになり、いよいよ完成の時期が近づいて来たこと楽しみにしております。用地買収につきましても困難なことがあるとは思いますが、本路線の完成は、私たち南区民長年の悲願です。予定どおり、平成十九年度に完成できるのかどうか、お聞きします。

中島康雄建設局長(答弁) 本路線につきましては、国道171号から大藪街道までの区間は既に一定の整備が完了し、現在、暫定供用を行っております。残る吉祥院下鳥羽線までの区間につきましては、地元の皆様の協力を得て鋭意用地買収を進めるとともに、桂川渡河部となる仮称第二久世橋につきましても、下部工事を既に完成させ、現在、桁の仮設を順次進めているところであります。本路線が担う役割の重要性や南区をはじめとする市民の皆様の強い思いを踏まえ、今後とも引き続き残る用地の確保及び整備工事に全力で取り組み、平成十九年度の完成を目指して参ります。

保養所の市民開放

「職員の福利厚生の見直しと保養所の市民への開放」

内海貴夫議員（質疑） 自民党京都市会議員団では、本市における職員団体・労働組合の活動に関する市民の理解と共感を得ることが出来る、パートナーシップにもとづく市政運営が図られるよう、市民の目線に立って、より一層の点検をして欲しいとの市民要望に応えるため、この度、自民党京都市役所構造改革戦略会議を設置いたしました。今回は京都市職員の福利厚生に関して二点おたずねします。

第一に、京都市の職員厚生会への職員一人当たりの公費支出額は政令指定都市・都道府県の中で上位にあり、今後は、職員の福利厚生事業の見直しを一層進めることにより、職員厚生会の財政規模の削減を図り、公費支出額の更なる削減に取り組みべきですが、いかがですか。また、保養所の利用は職員に限定されていることから、稼働率が徐々に低下し、そのことが運営赤字の原因となっていることが非常に大きな問題なのであります。

内海議員の質疑項目

- ・職員の福利厚生の見直し・保養所の市民への開放
- ・有料指定袋制導入に向けての取り組み等
- ・高齢者等に対するごみ排出への支援
- ・有料指定袋制の導入と市民の環境意識の高揚
- ・産業廃棄物の処理問題
- ・市立病院での男性固有の疾病への対応
- ・醍醐和光寮の建替え
- ・醍醐コミュニティバスへの敬老乗車証の適用
- ・構造計算書偽装事件に伴う対策等
- ・交通渋滞緩和策の推進・JR東大路駅(仮称)構想

松井珍男子副市長（答弁） 本市では、職員厚生会を通じ福利厚生事業を実施して参りましたが、それぞれの事業のあり方につきまして、時代の変化に合わせ、不断の点検、見直しを行って参っており、平成十八年度からは、職員厚生会への公費と職員の掛金との割合を、一対一に引き下げることにしております。

とが必要ではないかと思いが、いかがでしょうかお答え下さい。

松井珍男子副市長（答弁） 本市では、職員厚生会を通じ福利厚生事業を実施して参りましたが、それぞれの事業のあり方につきまして、時代の変化に合わせ、不断の点検、見直しを行って参っており、平成十八年度からは、職員厚生会への公費と職員の掛金との割合を、一対一に引き下げることにしております。

よう、努めて参ります。また、保養所を市民の皆様へ開放することは本市の福利厚生事業に対する理解を深めると共に、施設の有効活用により、利用率が向上し、財政負担の軽減につながるものと考えております。現在、職員厚生会において抜本的な見直しが行われており、市民開放につきましては、その見直しの中で積極的に検討して参ります。

ふれあい収集作業 積極的な検討必要

「高齢者等に対するごみ排出への支援」 内海貴夫議員（質疑） 私はこの

際、いわゆる、ふれあい収集作業について積極的に検討すべきと思っております。障害者福祉、高齢者介護の現状認識と将来展望を踏まえて、公共の何らかの支援が必要ではないでしょうか。まち美化事務所と福祉事務所とがタイアップするとか知恵を絞って、財政負担をかけない方法もあるのではないですか、お答え下さい。

松井珍男子副市長（答弁） 今後、高齢者等のごみの排出の実態把握や、ごみ収集作業との連携などについて、保健福祉局と環境局でプロジェクトチームを立ち上げさせ、更なる検討を進めるよう指示いたします。

マンション建築に デザイン基準策定

「都心部の景観形成」

加藤盛司議員（質疑） 田の字の内部の職住共存地区と呼ばれている地区について今後どのような景観形成を目指すとしていくのか。また、この地区には今もマンション建設が続いていますが、そのデザインや色についても京都らしいものが必要であると考えますがいかがでしょうか。

榎本頼兼市長（答弁） この地区の景観形成については、①京都らしい歴史的な町並み景観、②都市における良好な居住環境、③都市としての活力の三つの調和が重要なキーワードと考え、平成十五年に、「まちなみ整備審議会」の答申を受け、美観地区の拡大など三つの法制度を組み合わせた独自の方式によって、中高層建築物に対する建築規制の強化と賑わい施設の誘導の仕組みを緊急に整備したところとあります。その成果は現れつつあるものの、高さの上限規制を変更してはなかつたことから歴史的町並みと調和した景観の保全、創出のための規制としては、限界があったことも否めず、更なる高さ規制等の見直しが必要とされ、また、歴史的町並みと調和した中高層の現代建築に対する明確なデザイン基準の策定が求められております。三月に「時を超え光り輝く京都の景観づくり審議会」から、中間取りまとめをいただくことになっており、平成十八年度に、職住共存地区にふさわしい高さ規制の見直しと「京都様式」とも言うべきデザイン基準の策定に取り組んで参ります。

具体的施策へ 交通社会実験

影響大きい車排除

加藤盛司議員（中京区）

「中心市街地における交通社会実験」

加藤盛司議員（質疑） 年頭の榎本市長の記者会見や予算案にも計

歩いて楽しいまちづくり

上されている、歩いて楽しいまちなか戦略についてお尋ねをいたします。

会見翌日の新聞記事では、マイカー排除といった言葉が踊っていましたが、今すぐ都心部から全ての自動車を完全に排除すること

は、混乱をもたらさし、あまりにも影響が大きすぎ現実的ではないと思えます。一月末に行われた交通調査をもとに、来年度には関係者による協議会を設置し、交通社会実験の実施を目指されているそうですが、どのような姿を目指して、今後どのように進めていかれるのかお答え下さい。それは単に社会実験だけなのか、それともいずれは恒常的なものと考えておられるのかどうでしょうか。

加藤議員の質疑項目

- ・市債残高増加の市財政への影響
- ・18年度予算編成における行政評価システムの役割
- ・都心部の景観形成
- ・中心市街地における交通社会実験
- ・歩いて楽しいまちづくりに向けての自転車対策
- ・ゼスト御池の活性化等
- ・教員養成の取り組み
- ・障害者自立支援法施行に伴う施策の推進
- ・地下鉄東西線の天神川延伸事業の見通し

榎本頼兼市長（答弁） 歩行者が主役の交通まちづくりを進めるため、来年度の早い時期に対象地域（四条通・河原町通・御池通・烏丸通に囲まれた地域）の住民や商店街の皆様、関係機関に呼びかけて協議会を設置し、幅広い御意見を聞きながら合意形成を図り、具体的な施策を視野に入れた



放置自転車が散乱する繁華街の歩道(河原町通三条)

放置自転車なくす スペースの確保を

「歩いて楽しいまちづくりに向けての自転車対策」

交通社会実験を平成十九年度に実施することを目指して参ります。「歩くまち」の実現は、京都発展の命運を握るものであり、単なる社会実験にとどまることだけでなく、市民、事業者の皆様と力を合わせ、全国の大都市のモデルとなる

「歩いて楽しいまちづくりに向けての自転車対策」

加藤盛司議員（質疑）

これからの都心部の交通問題を考える時、自転車問題は避けて通ることができません。気軽に利用できる、環境にも優しい自転車は「脱車社会」の主役として脚光を浴びていますが、現実には街中のいたるところに放置され、狭い歩道でも猛スピードで走り

抜けるなどマナーの悪い乗り物になっているのも事実であります。自転車の利用を呼びかけるなら、中心部に駐輪のためのスペースを確保することが必要です。歩いて楽しいまちづくりを進める上での自転車対策についてお答え下さい。

中島康雄建設局長（答弁） 都心部において駐輪のための用地を確保することは難しい課題でありますが、既存の自転車駐車場の拡充や公共空間の活用等、様々な工夫をしながら駐輪スペースの確保を図って参りたいと考えております。歩道を利用した自転車駐車場の確保につきましては、景観の観点を含め、他都市の事例も参考にしながら調査、研究して参ります。また、集客施設の自転車駐車場に つきましては、これまでに二万八千二百二十台が設置されており、放置自転車対策に効果があつており、今後、対象施設の拡大や店舗面積の引き下げ等の見直しによる付置義務の強化を検討して参ります。



自民党議員団は 頑張っています

- (写真後列右から)
- うつみ貴夫 (東山区)
 - 田中セツ子 (南区)
 - 井上与一郎 (右京区)
 - 西脇尚一 (下京区)
 - 青木ヨシオ (左京区)
 - 北川あきら (西京区)
 - 中村やすろう (西京区)
 - 高橋泰一朗 (伏見区)
 - 磯辺とし子 (東山区)
 - 国枝克一郎 (上京区)
 - 巻野 渡 (左京区)
 - 小林正明 (北区)
 - ムクダ知雄 (南区)
- (写真前列右から)
- 寺田 一博 (上京区)
 - 加藤盛司 (中京区)
 - 中川かずお (伏見区)
 - 繁 隆夫 (伏見区)
 - 富きくお (山科区)
 - 橋村芳和 (伏見区)
 - 津田大三 (中京区)
 - 加地 浩 (北区)
 - 田中英之 (右京区)
 - 中村三之助 (上京区)
 - 川中増次郎 (山科区) (療養中)



市民と同じ目線に立って、市政運営について審議する
自民党有志議員の市役所構造改革戦略会議



市民と共感!

昨年末に発足した「自民党京都
市役所構造改革戦略会議」は活発
な活動を展開しています。これは
昨年九月の定例市会で自民党市議
が代表質問で、ヤミ専従問題、違
法な組織活動や選挙活動、政治活
動など京都市における職員団体・
労働組合の活動について質問を致

しました。その後、市民の皆様よ
り自民党市議団に対し、市民の理
解と共感を得ることができ、パ
トナーシップに基づく市政運営が
図られるよう、また市民の目線に
立って見直されるようより一層の
点検をしてほしいとの声が多く寄
せられ、その期待に応えるために、

活発に「自民党市役所構造改革戦略会議」

問題点を見直しへ

さらなる調査と点検

内海貴夫議員を委員長に自民党市
議の有志十数名で構成したプロジェ
クトチームです。

平成十七年十二月十五日に開か
れた第一回会合を皮切りに、これ
まで三回の会合を開き、「給付事

業と保養所」(京都市職員厚生会)
という当面のテーマのもと、総務
局長の出席を求め、給付関連事業、
厚生関連事業、購買関連事業の三
事業について詳しい説明を求め、
熱心に調査、質疑、審議を行いま

きょうと 青年政治大学校 第8期・6月上旬開校予定!

予定講師陣は・・・
自民党所属国会議員／大学教授
文化人／地元起業家 他

きょうと青年政治大学校「第7期・正規受講生」
へ多数ご応募をいただきありがとうございました。
現在、第8期目を本年6月上旬開校にむけて
準備を進めております。募集要項など詳細が
決まり次第、ホームページでお知らせいたしま
す。(4月上旬募集開始予定)

詳しくは、きょうと青年政治大学校HPまで
<http://libasta.at.infoseek.co.jp/>

した。
今後は、それぞれ事業別にテー
マを絞り、分科会方式でさらなる
調査研究を実施し、公開を考えて
おります。まずは市民の皆様は理
解していただける京都市職員の福
利厚生のある方を求めて参ります。

あっ煙…火事や 自民議員お手柄

すぐ119番、消火活動

自民党の清水鴻一郎衆議院議員
と伏見区選出の自民党府・市議五
人は、一月四日伏見区竹田学区で
新年の挨拶回りをしていたところ、



消火活動で贈られた感謝状

道路脇に置かれていた洗濯機から
煙が上がっているのを発見、直ち
に119番通報するとともに、付
近の家から消火器やバケツを借り
初期消火に奮闘、大きな被害にな
るのを防ぐことができました。後
日、住民とともにお手柄の市議ら
に伏見消防署から感謝状が授与さ
れました。